



岡山理科大学

大学入学、興味を持って自学

4月3日、前日の雨もあがりソメイヨシノが満開の中、入学式が挙行されました=写真。学部の新入生は1544名となり昨年と同様1500名を超えました。

今年は昨年の2倍近い保護者の皆様へ出席をいただき資料数に不足が出てしまいました。

入学式の翌日から急に学内はにぎやかになりました。1249名が卒業して大学院生を含めた1670名が入学してきたからでもあります。サークルの勧誘活動も盛んで叫び声が飛び交っています。新入生は目指す建物がどこにあるかわからず、まごまごして混雑していました。ごそごそ ざわざわ なんだか楽しい雰囲気です。

大学入学で、新しい世界が始まります。ここまでの、人生の5分の1

が経過したに過ぎません。大学の4年間でどれくらい伸びることができるか、どんな部分を伸ばすことができるかで、大きく人生は変わってしまうかもしれません。

まずは興味のある事に注目してみてください。

興味を持って自学するなかで教えられて得ることとは違う理解・発見があるはず。その中で、苦手科目をあらためて勉強する必要性も見えるかもしれません。他人とのつきあい方を学ぶのも大学時代の大切な事。他人の心を読み取り、自分の心を理解することが大切です。自分を守ることは大変です。素直に伝われば、心は軽くなります。

納得できる4年間になることを祈ります。(学長室通信より)



一泊研修で親睦

大山、中の原銀嶺、奥大山(以上鳥取)、蒜山高原(岡山)、ツネインしまなみビレッジ(広島)の5会場で、学科ごとに分かれての新入生一泊研修が4月5~7日、行われました。

自己紹介やカリキュラムの説明、時間割りの作成指導のほか、趣向を凝らしたレクリエーションなどがあり、新入生たちの親睦が図られました。

写真は、奥大山班です。昨年と同様、季節はずれの大雪に見舞われましたが、楽しく、有意義な研修でした。

岡山店5階美術画廊・ギャラリーで開きました=写真。

壺、花器、花生、台鉢、板皿、鉢、うつわ(食器)、茶陶、香炉、陶画の10種で、昨年から新たに取っかかっているものだといいいます。児島教授は、「自分の可能性への挑戦」と話されていました。



倉敷芸術科学大学

児島先生が「十種十作展」

陶芸家でもある児島塊太郎倉敷芸術科学大学教授が、自らの作域を大別、10分野ごとに10点を集めた「十種十作展」を、3月末に天満屋

Okayama University of Science
岡山理科大学

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ous.ac.jp/>

OUS Specialized Training College
岡山理科大学専門学校

〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
(URL) <http://www.risen.ac.jp/>

Okayama University of Science Junior High School
岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info/j/>

Kurashiki University of Science and the Arts
倉敷芸術科学大学

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640
(URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

Tamano Institute of Health and Human Services
玉野総合医療専門学校

〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20
(URL) <http://www.tamasen.ac.jp/>

Chiba Institute of Science
千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3
(URL) <http://www.cis.ac.jp/>

Okayama University of Science High School
岡山理科大学附属高等学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ridaifu.net/>

KAKE 学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL.086-256-8404
<http://www.kake.ac.jp/>

KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第2号

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校

加計学園と瀬戸内市が包括連携協定

「地域発展」 「学術振興」で協力

地域社会の発展と学術の振興などでの協力を図る包括連携協定が、3月18日、瀬戸内市と学校法人加計学園の間で結ばれました。

同市には、「林原自然科学博物館」が所有している恐竜などの化石を保管している施設があります。岡山理科大学は、来年4月、恐竜化石の発掘や分析手法を学ぶ「恐竜・古生物学コース」を生物地球学部の新設する予定で、貴重な教材として活用することになっています。

協定は、地域づくり・まちづくりの推進▽観光や産業など地域経済の発展▽教育・文化・スポーツ▽自然環境の保全、などとなっております。協定の期間は来年3月末まで。1年ごとに更新することになっています。

学園で行われました調印式=写真=では、武久頭也市長が「まちづくりへ英知をお借りして、ともに発展したい」と述べ、加計孝太郎理事長も「岡山発の、世界に負けない共同研究を行っていきたい」と期待を示しました。



恐竜・古生物学コース 岡山理大が来春開設

岡山理科大学は、「林原自然科学博物館」が所有する恐竜などの化石標本の一部を教材として貸し出しを受け、研究や教育に利用する協定を、2月8日に同社と結びました。生物地球学部生物地球学科の新しい「恐竜・古生物学コース」開設に合わせて、研究室も増やし、研究を進めていくことになっています。

恐竜の発掘・研究の専門コースは国内の大学では初めて。

林原自然科学博物館には、モンゴルなどで発掘の恐竜化石など約1万点が保管されています。



4月4日、倉敷芸術科学大学の附属施設「ヘルスピア倉敷」で、2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生(本学特別栄誉教授)の記念講演会が開催されました=写真。鈴木先生のノーベル化学賞受賞を顕彰、倉敷芸科大生命科学科の萬代教授を中心に構成されている「鈴木章記念ケミストリーネットワーク」の主催によるものです。

鈴木章特別栄誉教授が記念講演

倉敷芸術科学大学 科学を身近に

講演会には、SSH認定校の倉敷天城、玉島、金光学園、清心女子などの中学・高校生や一般の方々250名あまりが来場、熱心に聴講されました。講演後の質疑応答では、生徒らの活発な質問に鈴木先生は丁寧に回答、科学と鈴木先生を身近に感じていただける講演会となりました。

「鈴木章記念ケミストリーネットワーク」主催の講演会は今後も開催を予定しています。科学に興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

夢抱いて、元気に巣立って 卒業式・修了式

岡山理科大学附属高等学校

「善悪の区別できる大人に」

第49回卒業証書授与式が3月1日、体育館で挙行政されました=写真。最初にアーチェリーで活躍した大饗悠一郎君が聖火点灯。各科・コース代表10名が登壇し宮垣嘉也校長より卒業証書が手渡されました。「自分で判断し行動でき、善悪の区別ができる大人に成長していると確信しています」と校長は祝辞。「楽しかったことは漠然と淡く、苦しかったことは鮮明に記憶されると言いますが、いかがでしょうか？」と高校生活を振り返り、「高校の卒業は一つのゴールですが次のステップでもあります。自ら進んで努力

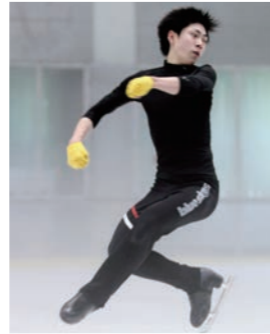


することを忘れないでほしい。皆さんの活躍と幸福をお祈りします」とくりました。式後、教室でホームルーム。涙あり笑顔あり、感謝の言葉も飛び交い、最後の思い出を作っていました。

注目の卒業生



相撲部
大森 康平君
入間川部屋へ入門



フィギュア
田中 刑事君
倉敷芸科大へ進学

通信制課程

「出会いの大切さを知った」

通信制課程Ⅲ期卒業式が3月24日、理大ホールで挙行政され=写真、平日・日曜コースの74名が「高校卒業」という大きな目標を達成。宮垣嘉也校長が、壇上で、卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡しました。「学ぶことは宝です。長い人生の中で学んできたことはきっと役に立ちます」「ゆっくり行くものは遠くまで行けます。健康をお祈りし



ます」と校長が式辞。後援会の村井さんからも「新しい世界で自分を磨き、強くなってください」と温かい言葉がありました。「周りの方々が励ましてくださったお陰で、生徒会活動や部活動に頑張れました。『つらいことがあるのが学校』という意識が変わりました。出会いの大切さを知り、心の豊かさを学びました」と卒業生代表の長谷川翔太君は、先生方に深々と頭を下げました。涙と感謝、希望あふれる卒業式となりました。

岡山理科大学附属中学校

「一隅を照らす…国宝なり」

3月16日に義務教育修了式が行われました=写真。また、中学から高校へ変わり、15歳の節目に併せて立志式も行いました。「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」思いやりを大切に、「去稚心」甘えを捨て、「振気」精神を振るい立たせ、「立志」志を立てて、「勉



学」学につとめ、「択交友」良い仲間を作り学んで欲しい、と位田隆久校長から激励がありました。その後、生徒一人ひとりが、立志の手紙を書き保護者へ手渡しました。この決意を胸に更なる躍進が期待されています。終了後、生徒会が主催する未来咲の会で、在校生からの合唱や3年間の思い出の映像などが流され笑いと感動に会場が包まれました。

岡山理科大学附属高等学校

機械保全技能士2級 津山 宥輝君 合格

機械科3年の津山宥輝君=写真=が3月、難関資格の「機械保全



技能士2級」に合格。快挙を成し遂げました。機械保全技能士は、工場の設備機械の故障や劣化を予防し、機械の正常な運転を維持し保全する能力を持つもの

を認定する国家資格。昨秋、3級に仲間7人と共に合格した津山君は、更なる上をめざして一人でチャレンジし、合格しました。「難しいと覚悟して試験に臨んだはず。やればできる、と本人も我々も勉強させてもらいました。」と機械科の坂口先生。

希望に胸をふくらませて 入学式

岡山理科大学附属高等学校

「歴史ある学校、切磋琢磨を」



桜の花びらが舞う4月9日、第52回入学式が挙行政され、400名を超える新入生を迎えました=写真。

朝9時過ぎ、真新しい制服を着た新入生やスーツ姿の保護者が次々と来場。会場前で記念撮影などをして着席しましたが、開式前に吹奏楽部による学園歌と校歌の演奏が始まると一気に静まりかえりました。体育館に開式の言葉が流れ、まず校長が入学を許可しました。加計孝太郎理事長から「本学園7設置校の中で一番歴史ある学校です。同じ学園で学ぶ者同士、切

磋琢磨してください。そして夢の実現のために勉学に勤んでください」と式辞。宮垣校長は、「第1に勉強をすること。真剣に取り組んだ事実は大変な土台になる。第2に大人になる境目を迎えるにあたり、楽しくないことを我慢してやる。そして第3に自分の好きなことを楽しくやる。スポーツや音楽、読書を楽しんでやってほしい」という言葉を送りました。式後は担任が教室へ案内しオリエンテーション。教務や高校生活、行事などの説明があり、高校生活が始まりました。

通信制課程

「学びは尊く、価値がある」

通信制課程の平成25年度Ⅰ期入学式が4月14日、理大ホールで挙行政され、平日コースと日曜コース合わせて61名の新入生を迎えました=写真。生徒会の生徒たちが笑顔で受付。新入生と保護者は緊張しながら席へ案内されました。宮垣嘉也校長が、様々な過程を経て入学してきた新入生へ「入学許可」、続いて「色々な学ぶ道がありますが、歩む方法は一つです。



自分で考え、自分で書き、自分の口で表現する。力の差があるにせ

よ、学んだことはすべての人に平等で尊く価値あるものです」と式辞を述べ、「そのためにも粘り強い努力と忍耐が必要です。人間的に大きく成長されることを祈ります」と檄(げき)を飛ばしました。「入学式は、良かったこと嬉しかったことは残しておいて、辛かったこと、悲しかったことはリセットする時です」と来賓の方からも応援の言葉。オリエンテーションで先生方が担当教科や部活動を紹介、新入生は新しい一歩を踏み出しました。

岡山理科大学附属中学校

「大きな夢、大志を抱こう」

4月9日に入学式が行われ、真新しい制服を着て凛とした、爽やかな新入生が入学してきました=写真。位田隆久校長は「北海道大学で教鞭を執られたクラーク博士が『少年よ 大志を抱け』という言葉を残されました。しかしその大志は、『お金や地位、私利私欲のためであ

ってはならない』と続けられています。新入生の皆さん、大きな夢を、大志を抱きましょう」と声を掛けられました。在校生からは「たくさんの学校行事があります。一緒に楽しんでいきましょう」とあいさつがありました。



あどけない表情の残る1年生。これから多くのことを学んでいきましょう。

吉備高原学園高等学校

「3年後、成長した自分に…」

4月11日、第23回入学式が行われ、13府県から集まった91名が、全寮制である吉備高原学園高等学校の新たな一員となりました=写真。新入生代表宣誓では、海野詩乃

さんが「3年後、大きく成長した自分に出会えるよう精いっぱい努力します」と力強く述べました。新入生の皆さん、自然に恵まれた吉備高原学園高等学校で伸び伸びと高校生活を送ってください。

